別紙3　点検表記録様式　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　様式1（その1）

橋梁名・所在地・管理者名等

橋梁名	路線名	所在地	起点側	緯度	32°　12′　56.02″
				経度	130°　53′　57.44″
石田橋 (フリガナ)いしだばし	石田橋線	上北字別府前			

管理者名	点検実施年月日	路下条件	代替路の有無	自専道or一般道	緊急輸送道路	占用物件（名称）
あさぎり町	2015.2.20	河川	有	一般道	指定なし	–

部材単位の診断（各部材毎に最悪値を記入）

点検者	成田　喜一	点検責任者	加耒　雄一

部材名		点検時に記録 判定区分（Ⅰ～Ⅳ）	変状の種類（Ⅱ以上の場合に記載）	備考（写真番号、位置等が分かるように記載）	措置後に記録 措置後の判定区分	変状の種類	措置及び判定実施年月日
上部構造	主桁	Ⅰ					
	横桁						
	床版						
下部構造		Ⅰ					
支承部							
その他		Ⅱ	腐食	写真 1、2、対傾溝 01			

道路橋毎の健全性の診断（判定区分Ⅰ～Ⅳ）

点検時に記録 （判定区分）	（所見等）	措置後に記録 （再判定区分）	（再判定実施年月日）
Ⅰ			

全景写真（起点側、終点側を記載すること）

架設年次	橋長	幅員
1960年	54m	1.60m

起点

終点

※架設年次が不明の場合は「不明」と記入する。

状況写真（損傷状況）
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他（対傾溝）【判定区分： Ⅱ 】	その他（対傾溝）【判定区分： Ⅱ 】
その他（その他）【判定区分： Ⅱ 】	その他（その他）【判定区分： Ⅱ 】

状況写真（損傷状況）
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他（その他）【判定区分：　Ⅱ　】	その他（その他）【判定区分：　Ⅱ　】
その他（対傾溝）【判定区分：　Ⅱ　】	その他（対傾溝）【判定区分：　Ⅱ　】

状況写真（損傷状況）
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他（その他）【判定区分：　Ⅱ　】	その他（その他）【判定区分：　Ⅱ　】
その他（その他）【判定区分：　Ⅱ　】	その他（その他）【判定区分：　Ⅱ　】

状況写真（損傷状況）
○部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
○写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

<table>
<tr><td>その他（対傾溝）【判定区分：　Ⅱ　】</td><td>その他（対傾溝）【判定区分：　Ⅱ　】</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
<tr><td>その他（その他）【判定区分：　Ⅱ　】</td><td>その他（その他）【判定区分：　Ⅱ　】</td></tr>
<tr><td> </td><td> </td></tr>
</table>

状況写真（損傷状況）
〇部材単位の判定区分がⅡ、Ⅲ又はⅣの場合には、直接関連する不具合の写真を記載の
〇写真は、不具合の程度が分かるように添付すること。

その他（その他）【判定区分:　Ⅱ　】	その他（その他）【判定区分:　Ⅱ　】
支承部【判定区分:　　　】	下部構造【判定区分:　　　】